

I 調査の概要

1 調査の目的

沖縄県は、平成 25 年 3 月に、食育に関する基本的考え方や方向性、具体的施策の展開を体系化し「第 2 次沖縄県食育推進計画」を策定した。本計画は平成 29 年度末で終期を迎えることから、本県の「食育」の現状を把握し、「第 3 次沖縄県食育推進計画」の策定に係る基礎資料を得ることを目的に調査を実施するものである。

2 調査項目

- (1) 食育への関心
- (2) 現在の食生活
- (3) 共食や孤食の状況
- (4) 生活習慣病の予防や改善に関する食意識や実践
- (5) 食品の安全性
- (6) 食文化の継承及び伝承
- (7) 食に関する感謝の念や環境への配慮

3 調査対象

- (1) 母集団 県内 10 市町村に居住する満 20 歳以上の男女。
10 市町村については、県内全体の人口の縮図となるように、主要市については県内 6 保健所（北部、中部、南部、那覇市、宮古、八重山）の管内から 1 か所ずつ選定した（名護市、うるま市、南城市、那覇市、宮古島市、石垣市）。ただし主要市が複数ある管内については、平成 28 年度末時点で食育推進計画を未策定の市を優先して選定した。また、町村部については、県内の直近 5 年間の人口動向を踏まえて、特に人口増加が著しい地域の中から中城村、与那原町、同じく減少が著しい地域の中から伊江村、南大東村を選定した。
- (2) 標本数 3,370 人。各市町村からの抽出数は、県全体の人口構成に応じて以下の通り比例配分した。

調査地点数	管内の主要市	5年間で人口が増加した町村	5年間で人口が減少した町村	抽出数計
北部保健所	名護市 140 人		伊江村 105 人	245 人
中部保健所	うるま市 805 人	中城村 350 人		1,155 人
南部保健所	南城市 665 人	与那原町 210 人	南大東村 105 人	980 人
那覇市保健所	那覇市 710 人			710 人
宮古保健所	宮古島市 140 人			140 人
八重山保健所	石垣市 140 人			140 人
計	2,600 人	560 人	210 人	3,370 人

- (3) 抽出方法 層化 2 段無作為抽出法

4 調査時期

平成 29 年 8 ～ 9 月

5 調査方法

郵送による配布・回収

6 調査実施委託機関

株式会社流通研究所

7 回収結果

(1) 有効回収数(率) 1,086 人 (32.2%)

(2) 調査不能数(率) 2,284 人 (67.8%) … 【内訳】 住所不明 23 拒否 2,260 死亡 1

8 性・年齢別回収結果

性・年齢		標本数	回収数	回収率	性・年齢		標本数	回収数	回収率
男性	20～29 歳	193	29	15.0%	女性	20～29 歳	193	54	28.0%
	30～39 歳	289	42	14.5%		30～39 歳	289	93	32.2%
	40～49 歳	289	71	24.6%		40～49 歳	289	123	42.6%
	50～59 歳	289	70	24.2%		50～59 歳	288	116	40.3%
	60～69 歳	288	108	37.5%		60～69 歳	289	133	46.0%
	70 歳以上	289	99	34.3%		70 歳以上	385	132	34.3%
計		1,637	420 ※	25.7%	計		1,733	654 ※	37.7%

※年齢について無回答だった人も含むため、年齢ごとの回収数の合計結果と一致しない。また、性別について無回答だった人は含まれないため、男女の合計結果と 7 (1) の有効回収数は一致しない。

9 地区・市町村別回収結果

地区・市町村		標本数	回収数	回収率	地区・市町村		標本数	回収数	回収率
北部	名護市	140	50	35.7%	南部	南城市	665	228	34.3%
	伊江村	105	30	28.6%		与那原町	210	87	41.4%
中部	うるま市	805	244	30.3%		南大東村	105	19	18.1%
	中城村	350	112	32.0%	宮古	宮古島市	140	36	25.7%
那覇市		710	227	32.0%	八重山	石垣市	140	42	30.0%

※市町村について無回答だった人は上記に含まれていない。